

身体障害者診断書・意見書（呼吸器機能障害用）

総括表

氏 名	年 月 日生()歳	男・女
住 所		
1 障害名（部位を明記）		
2 原因となった 疾病・外傷名		交通・労災・その他の事故・戦傷・戦災・ 自然災害・疾病・先天性・その他（ ）
3 疾病・外傷発生日		年 月 日・場所
4 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）		
障害固定又は障害確定（推定）		年 月 日
5 総合所見		
6 将来再認定（障害程度の変化の見込み）		要（時期 年 月） ・ 不要
7 その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付記する。		
年 月 日		
病院又は診療所の名称 所 在 地 診療担当科名 科 医師氏名		
身体障害者福祉法第15条第3項の意見（障害程度等級についても参考意見を記入すること。）		
障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に		
該当する。（ 級相当）		
該当しない。		

備考

- 1 障害名には現在起っている障害、例えば両眼失明、両耳ろう、右上下肢まひ、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、角膜混濁、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。
- 2 障害区分や等級決定のため、いわき市社会福祉審議会から改めて次ページ以降の部分についてお問い合わせする場合があります。

呼吸器の機能障害の状況及び所見

(該当するものを○で囲むこと。)

1 身体計測

身長 cm 体重 kg

2 活動能力の程度

ア 激しい運動をした時だけ息切れがある。(非該当)

イ 平坦な道を早足で歩く、あるいは緩やかな上り坂を歩く時に息切れがある。

(4級相当)

ウ 息切れがあるので、同年代の人より平坦な道を歩くのが遅い、あるいは平坦な道を自分のペースで歩いている時、息切れのために立ち止まることがある。(4級相当)

エ 平坦な道を約100m、あるいは数分歩くと息切れのために立ち止まる。(3級相当)

オ 息切れがひどく家から出られない、あるいは衣服の着替えをする時にも息切れがある。(1級相当)

3 胸部エックス線写真所見 (年 月 日)

ア 胸 膜 癒 着 (無・軽度・中等度・高度)

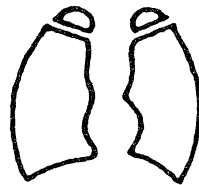
イ 気 腫 化 (無・軽度・中等度・高度)

ウ 線 維 化 (無・軽度・中等度・高度)

エ 不 透 明 肺 (無・軽度・中等度・高度)

オ 胸 郭 変 形 (無・軽度・中等度・高度)

カ 心・縦隔の変形 (無・軽度・中等度・高度)



4 換気機能 (年 月 日)

ア 予測肺活量 □. □□L (実測肺活量 □. □□L)

イ 1 秒 量 □. □□L (実測努力肺活量 □. □□L)

ウ 予測肺活量1秒率□□. □% ($=\frac{1}{ア} \times 100$)

(アについては、下記の予測式を使用して算出すること。)

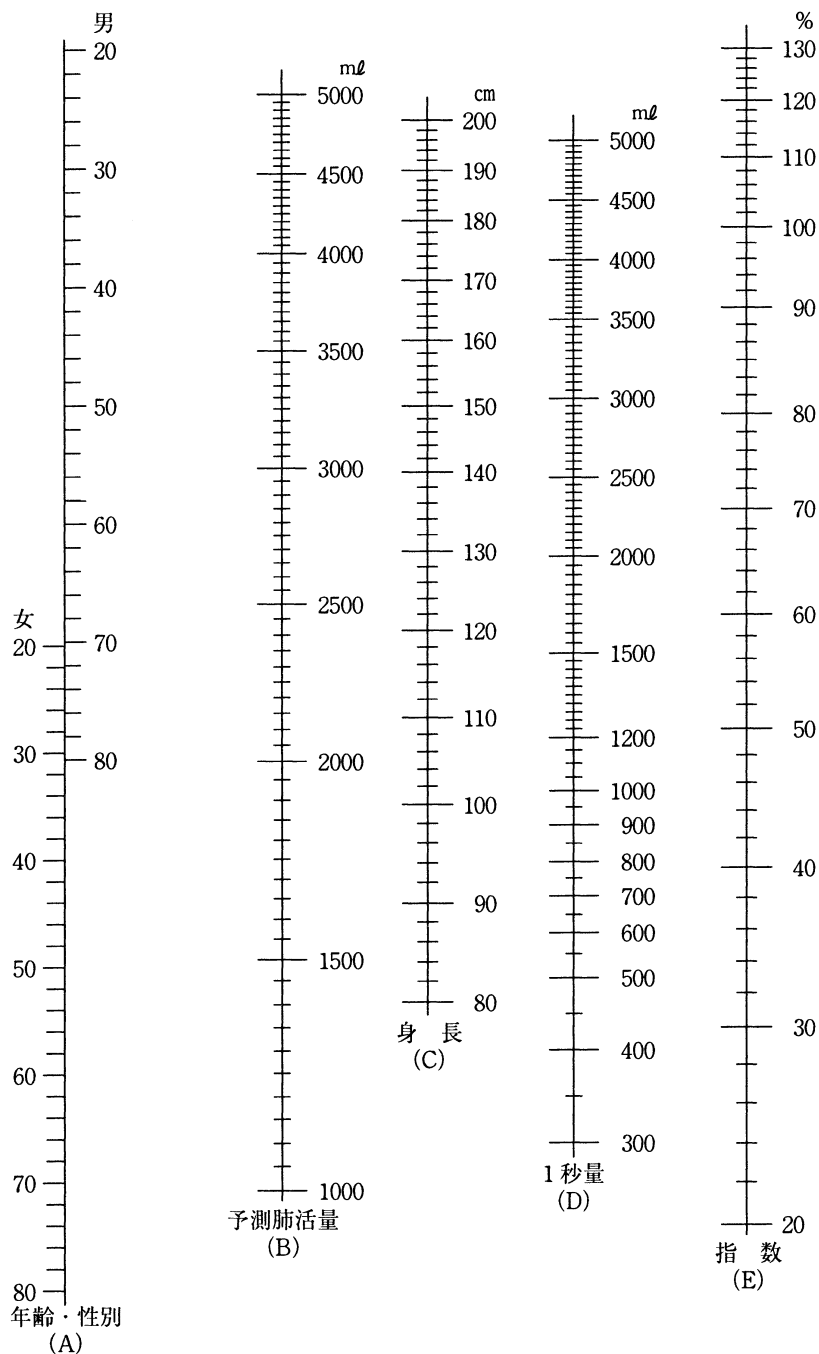
肺活量予測式 (L)

男性 $0.045 \times \text{身長(cm)} - 0.023 \times \text{年齢(歳)} - 2.258$

女性 $0.032 \times \text{身長(cm)} - 0.018 \times \text{年齢(歳)} - 1.178$

(予測式の適応年齢は男性18-91歳、女性18-95歳であり、適応年齢範囲外の症例には使用しないこと。)

ノモグラム



ノモグラムの使い方

- 1 (A)と(C)から(B)上にBaldwinの予測式による予測肺活量が得られる。
(B)と(D)とから(E)上に予測肺活量に対する1秒率が得られる。
- 2 (D)を1秒量の代わりに実測肺活量とすれば、(B)と(D)とから(E)上にパーセント肺活量が得られる。
- 3 (B)に実測肺活量を代入すれば、(B)と(D)とから(E)上に通常の1秒率が得られる。